

取扱説明書

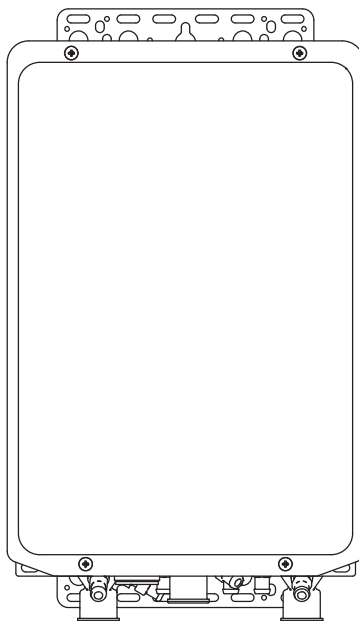
Micro Bubble Bath Unit
(マイクロバブルバスユニット)

家庭用

保証書付

品名

UF-MBU3



ご愛用の皆様へ

- このたびはリンナイ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくお使いください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。
- リモコンの使いかたについては、リモコンに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。
- ご使用の給湯器の取扱説明書も併せてご覧ください。
- 取扱説明書はいつでも使用できるよう大切に保管し、使用方法が分からないときにお読みください。
- この製品は国内専用です。

Rinnai

お使いになる前に

マイクロバブルバスユニットUF-MBU3は、適合する給湯暖房用熱源機やガスふろ給湯器、その他給湯システム（以下、本書では給湯機器と称する）に接続して使用します。

ご使用の給湯機器に付属の取扱説明書および、リモコン取扱説明書もご覧ください。

本書は、マイクロバブルバスユニットに関する事柄のみを記載しています。

リモコンの操作方法については、ご使用の給湯機器やリモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

給湯機器の取り扱いについては、それらに付属の取扱説明書をご覧ください。

特徴

- マイクロバブルバスユニットがお湯の中に空気を溶かし、直径 $100\mu\text{m}$ （マイクロメートル）* 以下の微細な気泡を含むお湯を作ります。
- やわらかな白いお湯での入浴をお楽しみいただけます。
- 特別な成分を使用しない空気の泡なので、時間とともに透明のお湯に戻ります。

* μm （マイクロメートル）： $1/1000\text{mm}$

もくじ

はじめに

お使いになる前に	1
特徴	1
もくじ	2
安全上のご注意	3
機器本体の各部のなまえ	6

準備してください

初めて使うとき	7
---------	---

マイクロバブル機能



マイクロバブル運転について	8
---------------	---

メンテナンス&サービス

冬期の凍結による破損防止について	9
長期間使用しないとき	12
機器を移設・浴槽を交換したとき	12
日常の点検とお手入れ	13
故障かな?と思ったら	15
故障表示	16
アフターサービスについて	17
主な仕様	18
保証書	裏表紙

安全上のご注意 (必ずお守りください)








- 製品を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。
- 以下に示す表示と意味をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	この表示は本機器を安全・快適に使うため、是非理解していただきたい事柄を示しています。

上記に述べる軽傷、物的損害とはそれぞれ次のようなものをいいます。

軽 傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などをさします。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

- 絵表示には次のような意味があります。

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。		高温注意
	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。		分解禁止
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。		ぬれ手禁止
			電源プラグをコンセントから抜く

警告



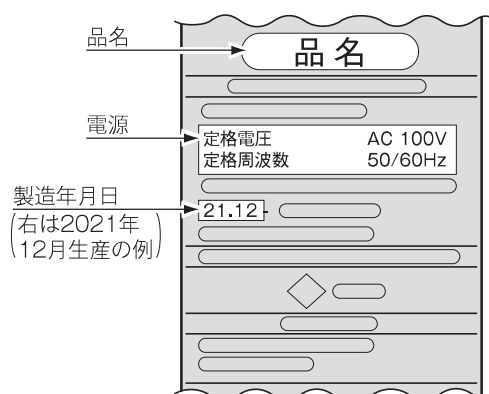
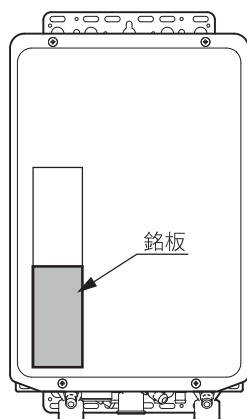
異常時の処置

- 機器の異常、臭気、異常音、水漏れなどに気付いたときは、すぐに使用をやめ、運転スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
リンナイ（株）お客様センター フリーダイヤル：0120-054321



電源を確認

- 銘板に表示してある電源（電圧・周波数）を確認してください。銘板に表示の電源以外では使用しないでください。異なる電源で使用すると、火災や機器破損の原因となります。
不明な点はお買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
移設や移転の場合は、施工店にご相談ください。

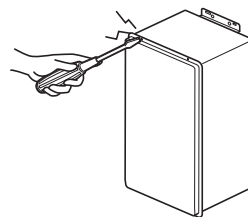


警告



改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わないでください。
改造・分解は思わぬ事故や故障の原因となります。



工事は資格必要

- この機器の設置・移動および付帯工事には専門の資格・技術が必要です。
工事は必ず施工店に依頼してください。



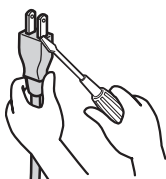
浴室内設置禁止

- この機器は屋外設置および浴室外屋内設置用です。浴室内には設置できません。



電気事故防止のために

- 電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火のおそれがあります。



- 電源プラグは確実に差し込んでください。差し込みがゆるいと、感電や火災の原因になります。



- 傷んだ電源プラグ・電源コードは使用しないでください。



- 感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。

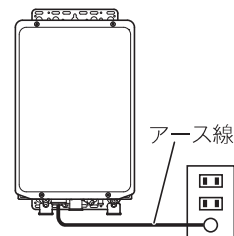


- 電源プラグのコンセント差込部の刃および刃の取付面にはこりが付着している場合は、乾いた布で拭いてください。火災の原因になります。



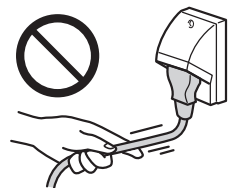
アースを確認

- この機器はアースが必要ですので、アース線がアース端子に接続されているか確認してください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。アース端子がない場合は有資格者によるアースの取り付けが必要です。アースの取り付けは販売店にご相談ください。



電源コードを持って引き抜かない

- コードを引っばって電源プラグを抜かないでください。ケーブルが断線して発熱・発火の原因となります。



許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



次のような方は使用しない

- 体力の弱っている方 ・ 泥酔者 ・ 睡眠薬を服用されている方 ・ 医師から入浴を禁じられている方



次のような方は医師に相談して許可を得てから使用する

- 循環器（心臓や血管など）や呼吸器（肺や気管など）に疾患や障害がある方
- 高血圧の方 ・ 妊娠中の方



入浴中に気分が悪くなった場合は、速やかに使用を中止する

- 重大な健康障害になることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください) (つづき)

⚠ 注意



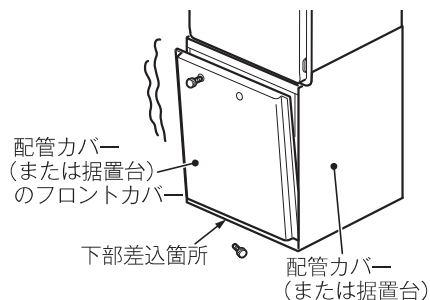
マイクロバブル運転時の注意

- ・マイクロバブル運転中はお湯が不透明になり、浴槽の底が見えなくなることがありますのでご注意ください。



配管カバー・据置台について

- ・配管カバーや据置台を使用している場合、それらのフロントカバーが確実に固定されていることを確認してください。また、定期的に点検してください。化粧ビスがゆるんだり外れていたり、下部差込箇所が外れているとフロントカバーが外れて思わぬ事故の原因となります。配管カバーや据置台のフロントカバーの固定については…
📖 P11 「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」



お願い

雷時の注意

- ・雷が発生しはじめたらすみやかに運転を停止し、電源プラグを抜くか、分電盤の専用ブレーカーを「切」にしてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- ・感電のおそれがありますので、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。雷が遠ざかったことを確かめてから、電源プラグがぬれていないことを確認した上でコンセントにしっかり差し込んでください。



適合する熱源機以外では使わない

- ・この製品が適合する給湯機器以外には使用しないでください。事故や故障の原因となります。

お手入れの際の注意

- ・けがには十分ご注意ください。
- ・機器のお手入れの際には、台所用中性洗剤（食器・野菜洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたり傷がつきます。

マイクロバブル運転時の注意

- ・浴槽に水のない状態でマイクロバブル運転をしないでください。ポンプを傷める原因となります。
- ・マイクロバブルを使用する際は、体をよく流してから入浴してください。マイクロバブル運転によって浴槽内のあかや汚れが目立ちやすくなる場合があります。気になる場合はネット（網）などですくい取ってください。

入浴剤について

- ・マイクロバブルバスユニットに影響があるので、入浴剤のご使用は控えてください。
硫黄・酸・アルカリ・塩分を含んだ入浴剤は、機器内の配管などが腐食するおそれがあります。
泡の出る入浴剤は、循環不良となりマイクロバブル運転ができません。
マイクロバブル運転時に気泡が十分に出なくなることがあります。
ただし、使用可能な入浴料、アロマオイルについては、当社の Web サイトでご確認ください。
https://faq.rinnai.co.jp/faq/show/2848?site_domain=default
なお、アロマオイルの場合、次の入浴で使用しない場合は油分が浮くことがあります。



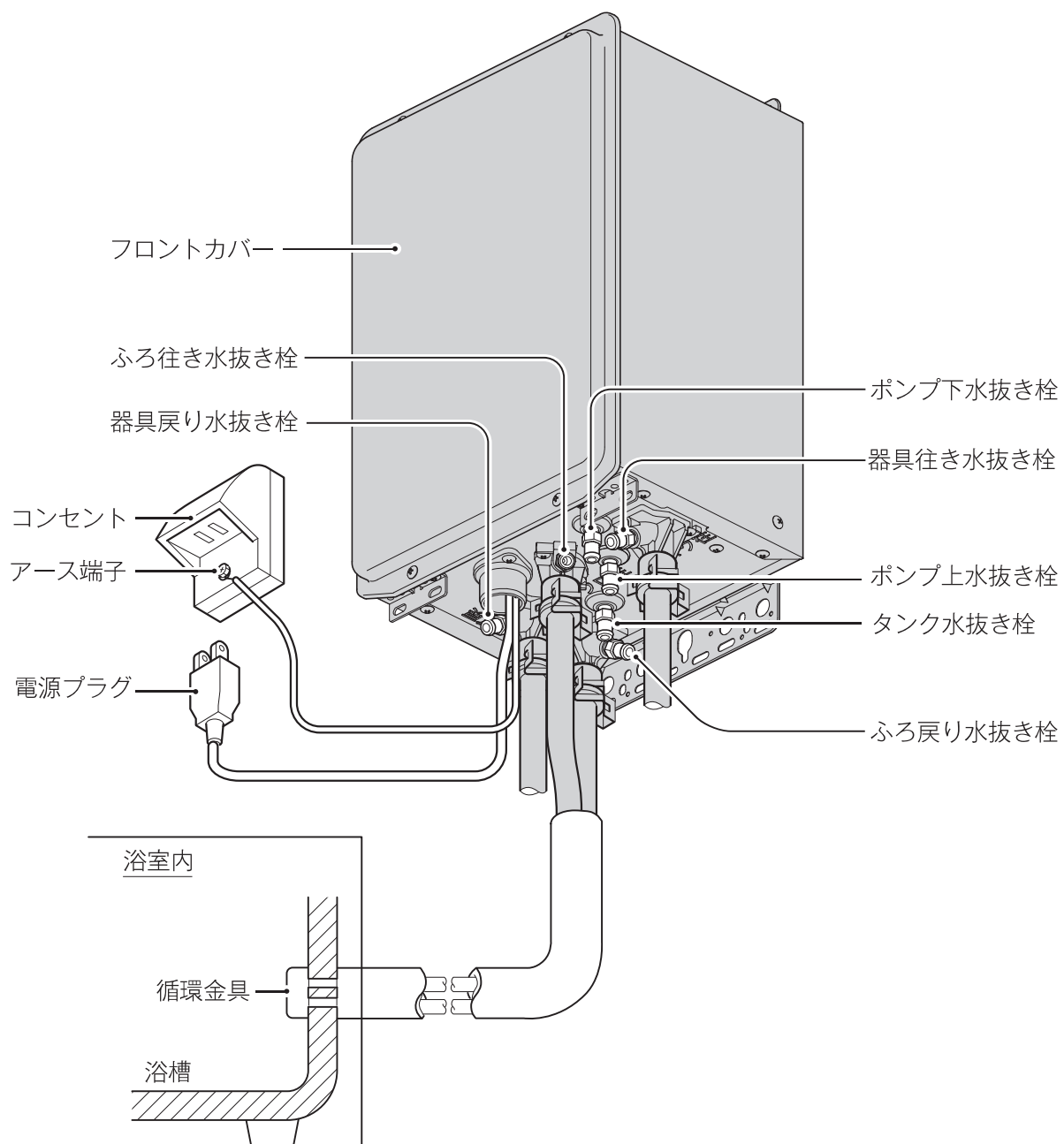
断水時のご注意

- ・断水すると、マイクロバブル運転が正常に動作しません。また、使用中に断水すると、しばらく運転を続けてから停止します。
- ・故障表示が出ることがあります。いったん運転スイッチを「切」にしてから再度「入」にし、水の供給が復帰するのをお待ちください。

📖 P16 「故障表示」

機器本体の各部のなまえ

マイクロバブルバスユニット本体



初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。

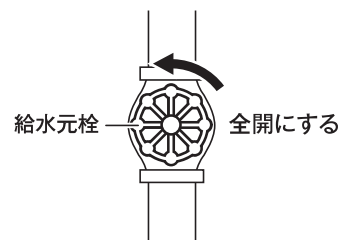
配管カバーや据置台を使用している場合は、最初にそれらのフロントカバーを外し、最後に元通り確実に固定してください。

取り外しかた・取り付けかたについては…

📖P11「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

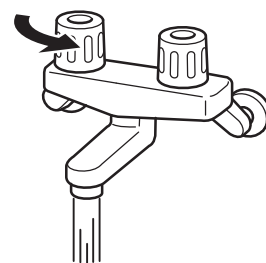
1 給水元栓を全開にする。

給湯機器の下方または側方に給水元栓があります。



2 給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉じる。

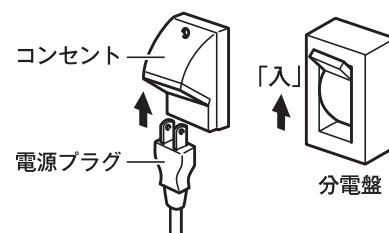
お湯の使用場所のすべての給湯栓で、確認してください。



3 給湯機器の電源を「入」にし、マイクロバブルバスユニットの電源プラグをコンセントに差し込む。(分電盤の専用ブレーカーを「入」にしてください。)

コンセントは機器付近の壁などにあります。

※ マイクロバブルバスユニットの電源ケーブルが給湯機器に接続されている場合は、給湯機器から電力が供給されています。この場合、給湯機器の電源を「入」「切」すると、マイクロバブルバスユニットの電源も「入」「切」します。



給湯機器の電源の入れかたについては、それらの取扱説明書を参照してください。



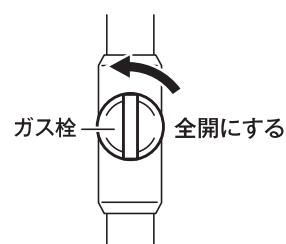
ぬれた手で電源プラグをさわらない

- 電源プラグをコンセントに差し込む際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



4 ガス栓を全開にする。

給湯機器の下方または側方にガス栓があります。

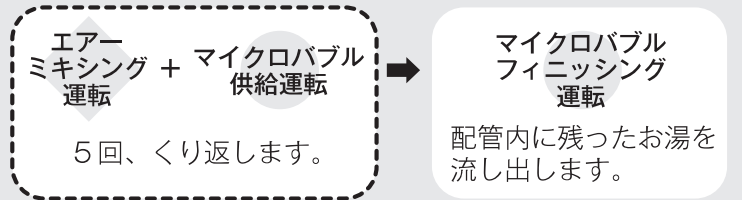


マイクロバブル運転について

マイクロバブル運転の「入」「切」については、リモコン取扱説明書をご覧ください。

1. マイクロバブル運転のしくみ

- マイクロバブル運転は、マイクロバブルバスユニット内の加圧タンクでお湯に空気を溶かし（エアミキシング運転）、減圧して微細な空気の泡を含むお湯にして循環金具から浴槽に出す（マイクロバブル供給運転）、の2つの動作を1サイクルとして、これを5回繰り返します。ただし、自動湯はりとは連動時は10回繰り返します。詳しくは、リモコン取扱説明書をご覧ください。
- このため、微細な空気の泡を含むお湯の供給は間欠的に行われ、マイクロバブル運転の途中で泡の濃度が変化することがありますが、異常ではありません。
- マイクロバブル運転時に、循環フィルターの周囲からも微細な空気の泡が出ますが、異常ではありません。
- マイクロバブル運転時に、浴槽のお湯の表面に小さな泡のかたまりができることがありますが、汚れではありません。お湯をかき混ぜると消えます。
- 浴槽の形状や循環金具の取付位置によって、泡の濃度が均一にならないことがあります。
- 大きな浴槽（340リットル以上）の場合、泡の濃度が均一にならないことがあります。
- 機器から浴槽までの配管が長い場合、泡の濃度が低くなりますが異常ではありません。
- マイクロバブル運転を行うと、湯温が下がることがあります。



2. マイクロバブル運転ができない？

- ふろの自動運転（または、予約運転）で湯はり中には、マイクロバブルスイッチを押してもマイクロバブル運転は開始しません。
- おいだし・たし湯・たし水運転中に、マイクロバブル運転を行うと、おいだし・たし湯・たし水運転は終了します。
- 自動運転の保温中にマイクロバブル運転を行うと、マイクロバブル運転が終了するまでは保温のための温度検知や水位検知（全自動タイプのみ）は行いません。
- 自動運転の保温時間終了間際にマイクロバブル運転を行った場合には、マイクロバブル運転が終了するまで保温が保留されるため、保温終了時間が長くなる場合があります。

3. 循環金具の上までお湯がないときにマイクロバブルスイッチを押すと

- 故障表示 **256** または **266** が点滅して停止します。

4. マイクロバブルフィニッシング運転について

- マイクロバブル運転終了時に、マイクロバブルバスユニット内と配管に残っているお湯を、給湯機器から供給されるお湯を使って循環金具から浴槽に流し出します（約30秒）。次回、マイクロバブル運転を行う際に、前回の残り湯が混ざることなく綺麗なお湯でマイクロバブル運転をお楽しみいただけます。
- マイクロバブルフィニッシング運転中は、浴室リモコンの表示画面に燃焼表示とふろ運転表示が点灯します。またマイクロバブルの動作を示す表示（お使いのリモコンにより表示が異なります）が現れ、マイクロバブルランプは消灯します。
- マイクロバブルフィニッシング運転が終了すると、燃焼表示とふろ運転表示は消灯します。

マイクロバブル運転中に、おいだし、たし湯、たし水運転や湯はりの自動運転を行うと、マイクロバブル運転は終了し、これらの運転後にフィニッシング運転を行います。

5. マイクロバブルバスユニットや配管内の水を手動で排出するには…（手動でマイクロバブルフィニッシング運転を行う）

- 誤って入浴剤を使用した後などに、マイクロバブルバスユニット内と配管のお湯（水）を排出したいときは、次の手順でマイクロバブルフィニッシング運転のみを行うことができます。
- ① マイクロバブルスイッチを一度押して「入」にする。
- ② 約5秒後にマイクロバブルスイッチを押して「切」にする。
マイクロバブル回路内と配管に残っているお湯が循環金具から浴槽に流し出されます。

冬期の凍結による破損防止について

暖かい地域でお使いのお客様も、必ずお読みください。

お使いの給湯機器も、それぞれの取扱説明書をお読みになり、凍結による破損を防止する処置をお取りください。

⚠ 注意

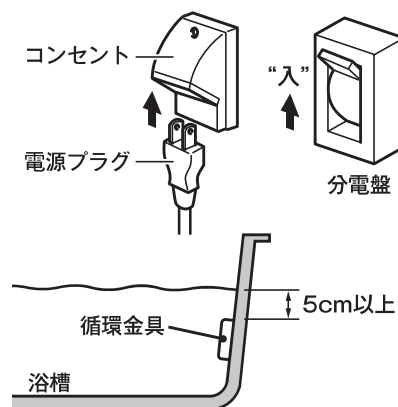
- 冬期は暖かい地方でも、マイクロバブルバスユニットや配管の水が凍結し、破損事故が起こることがあります。こうした事故を防止するために、次のような処置をお取りください。
- 外気温が極端に低く（ -15°C 以下）なる日や、それ以上の気温でも風のある日は、「対策-1」では凍結予防ができなくなります。このような場合には、「対策-2」を行ってください。
- 冬期に長期間マイクロバブルバスユニットを使用しないときは、必ず「対策-2」を行ってください。
- 凍結による破損の場合は、保証期間内でも有料修理となります。

対策-1 凍結予防ヒータと凍結予防運転による方法

マイクロバブルバスユニットには、外気温が下がると自動的に機器内を保温するヒータが組み込まれています。

- 1 電源プラグがコンセントに差し込まれている（分電盤の専用ブレーカーが「入」になっている）ことを確認する。
抜けていると作動しませんので注意してください。

- 2 浴槽に水を張っておく。
水位が、循環金具上端から上に5cm以上であることを確認してください。



外気温が下がると…

自動的に凍結予防ヒータが作動し、給湯機器がポンプ運転を行います。

対策-2 水抜きによる方法

マイクロバブルバスユニット内の水を抜き、凍結を予防する方法です。外気温が極端に低くなる場合は、この方法で行ってください。また、長期間にわたって機器を使用しないときにも、必ずこの水抜きを行ってください。

- 使用直後はマイクロバブルバスユニット内のお湯が高温になっていますので、やけど防止のため必ずマイクロバブルバスユニットが冷めてから行ってください。
- パイプシャフト内設置の場合、パイプシャフト内に水をこぼさないよう、排水を容器などで受けてください。

- 1 マイクロバブルバスユニットの電源プラグをコンセントから抜く（分電盤の専用ブレーカーを「切」にする）。

- 2 給湯機器の水抜きをする。

配管カバーや据置台を使用している場合は、それらのフロントカバーを先に取り外しておいてください。取り外しかたについては…

☞P11「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

マイクロバブルバスユニットの電源ケーブルが給湯機器に接続されている場合は、給湯機器の電源プラグをコンセントから抜くことで（分電盤の専用ブレーカーを「切」にする）、マイクロバブルバスユニットへの電源の供給が停止します。

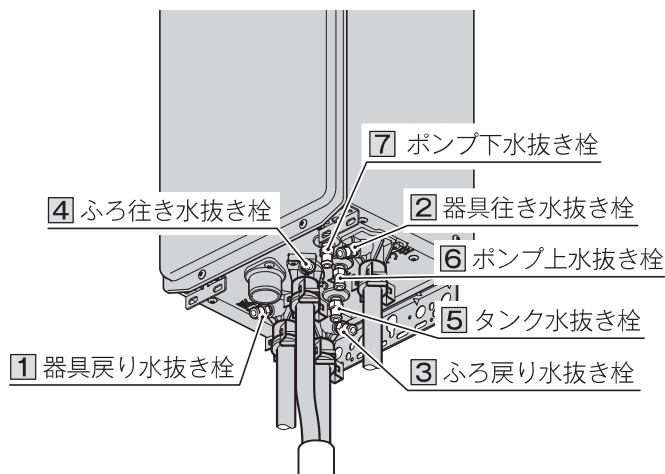
給湯機器の水抜きの方法は、機種により異なります。それらに付属の取扱説明書を参照してください。

- ③** 器具戻り水抜き栓 **①**・器具行き水抜き栓 **②**・ふろ戻り水抜き栓 **③**・ふろ行き水抜き栓 **④**・タンク水抜き栓 **⑤**・ポンプ上水抜き栓 **⑥**・ポンプ下水抜き栓 **⑦**を開ける。

以上の操作で、マイクロバブルバスユニット内の水が排出されますので、次にお使いになるまで水抜き栓は開けたままにしておいてください。

配管カバーや据置台を使用している場合、すべての水抜き作業が終了したら、配管カバーや据置台のフロントカバーを元通り確実に固定してください。取り付けかたについては…

📖P11「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」



水抜きしたマイクロバブルバスユニットを次に使うとき

初めてご使用になる場合や、水抜き後の再使用の場合はマイクロバブルバスユニットの準備が必要です。

- マイクロバブルバスユニットの処置を行ってから、給湯機器に通水します。

- ①** マイクロバブルバスユニットおよび給湯機器の電源プラグが抜いてある（分電盤の専用ブレーカーが「切」になっている）ことを確認する。
- ②** 器具戻り水抜き栓 **①**・器具行き水抜き栓 **②**・ふろ戻り水抜き栓 **③**・ふろ行き水抜き栓 **④**・タンク水抜き栓 **⑤**・ポンプ上水抜き栓 **⑥**・ポンプ下水抜き栓 **⑦**を閉じる。
- ③** 給湯機器の通水を行う。
その際、給湯栓やガス栓はまだ開けないでください。
- ④** 給湯機器に接続されている給水元栓を全開にする。
- ⑤** 給湯栓を開け、通水を確認した後に閉じる。
- ⑥** マイクロバブルバスユニットの電源プラグをコンセントに差し込む（分電盤の専用ブレーカーを「入」にする）。
- ⑦** 給湯機器の電源プラグをコンセントに差し込む（分電盤の専用ブレーカーを「入」にする）。
- ⑧** リモコンの運転スイッチが「切」になっていることを確認した後、ガス栓を全開にする。

お願い

水抜き栓は工具で締め付けしないでください。破損のおそれがあります。

給湯機器の通水の方法は、機種により異なります。それらに付属の取扱説明書を参照してください。

マイクロバブルバスユニットの電源ケーブルが給湯機器に接続されている場合は、給湯機器の電源プラグをコンセントに差し込むことで（分電盤の専用ブレーカーを「入」にすることで）、マイクロバブルバスユニットへの電源の供給が開始します。

時刻表示や給湯温度表示などを確認し、必要に応じて調節してください。

冬期の凍結による破損防止について (つづき)

配管カバー・据置台のフロントカバーについて

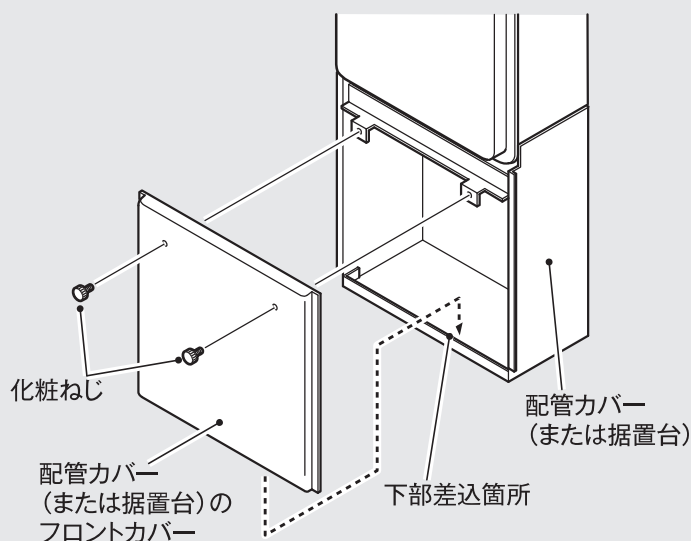
■ フロントカバーの取り外しかた

- ① 化粧ねじ 2 本をゆるめ、フロントカバーより取り外す。
- ② フロントカバーを上方に持ち上げて取り外す。

■ フロントカバーの取り付けかた

- ① フロントカバーの下部差込箇所を配管カバーや据置台の下部差込箇所に差し込む。
- ② 化粧ねじ 2 本を取り付け、しっかりと締めて固定する。

※ 下部差込箇所が外れていないことを確認し、化粧ねじをしっかりと締めて、確実にフロントカバーを固定してください。



図は一例です。実際の配管カバーや据置台は、形状が図とは異なることがあります。

長期間使用しないとき

長期間ご使用にならない場合は、次のことを行っておいてください。お使いの給湯機器も、それぞれの取扱説明書をお読みにになり、必要な措置を講じてください。

配管カバーや据置台を使用している場合は、それらのフロントカバーを先に取り外してください。取り外しかたについては…
P11「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

1 マイクロバブルバスユニットの電源プラグが抜いてある（分電盤の専用ブレーカーが「切」になっている）ことを確認する。

機器付近の壁・分電盤

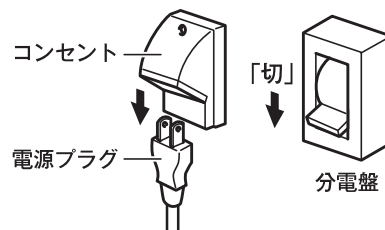
※ マイクロバブルバスユニットの電源ケーブルが給湯機器に接続されている場合は、給湯機器の電源を「切」にします。



警告

ぬれた手で電源プラグをさわらない

- 電源プラグをコンセントから抜く際は、ぬれた手で電源プラグをさわらないでください。感電のおそれがあります。



給湯機器の電源の切りかたについては、それらの取扱説明書を参照してください。

2 マイクロバブルバスユニットの水抜きをする。

P9「対策-2 水抜きによる方法」

機器を移設・浴槽を交換したとき

増改築などで浴槽を買い替えた場合や機器の設置場所を移動した場合は、浴槽サイズのデータ（お湯の量と水位の関係）を変更する必要があります。古い浴槽サイズデータの消去（浴槽データクリア）を行い、自動運転の試運転を行って、新たに浴槽サイズデータを記憶させてください。操作方法については、リモコン取扱説明書をご覧ください。

日常の点検とお手入れ

安全にお使いいただくために、お客様ご自身で点検とお手入れを定期的に行ってください。
マイクロバブルバスユニットのお手入れはユニットが冷めてから行ってください。
給湯機器の点検およびお手入れについては、それらに付属の取扱説明書を参照してください。

日常の点検

マイクロバブルバスユニット周辺の状態

- 配管カバーや据置台を使用している場合、それらのフロントカバーが確実に固定されていますか？
📖 P11「配管カバー・据置台のフロントカバーについて」

マイクロバブルバスユニットの状態

- マイクロバブルバスユニットおよび配管から水漏れはありませんか？
- 運転中にマイクロバブルバスユニットから異常音は聞こえますか？
- マイクロバブルバスユニットの外観に異常は見られませんか？
- ※ 異常を感じたときは…
📖 P3「異常時の処置」
- ※ 沿岸部で潮風に当たりやすい地域でご使用の場合は、潮風に含まれる塩分によってマイクロバブルバスユニット本体や配管接続部にさびが発生しやすくなります。外観上のさびがひどい場合は、ユニット内部の部品への影響も考えられますので、点検（有料）をおすすめします。

マイクロバブルバスユニット本体には安全に関する注意ラベルが貼ってあります。汚れたり、読めなくなったときはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。また、お手入れの際にははがれないようご注意ください。もしはがれたり読めなくなった場合は、新しいラベルに貼り替えてください。ラベルについては当社お客様センターにお問い合わせください。

お願い

定期整備のすすめ（有料）

- 安心してお使いいただくために、給湯機器と同様、定期的に（年に一回程度）整備を受けていただくことをおすすめします。
- ※ 定期整備を受ける先が不明の場合や整備費用などについては、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問い合わせください。
- 使用中に異常音がするなどの異常に気付いたときは…
📖 P3「異常時の処置」

日常のお手入れ

マイクロバブルバスユニットのお手入れ

- マイクロバブルバスユニットの表面が汚れたときは、台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）を含ませた布で軽く拭き取ってください。台所用中性洗剤（野菜・食器洗い用）以外の洗剤やみがき粉・シンナー・ベンジン・エタノールやたわしなどの硬いものを使用しないでください。表面の光沢や印刷・文字などが消えたり傷がつきます。
📖 P5「お手入れの際の注意」

循環フィルターとフィルターガイドのお手入れ

■ 循環金具の循環フィルターとフィルターガイドは定期的（月2～4回）に掃除してください。

<p>① 循環フィルターを左に回す。</p>  <p>循環フィルター</p>	<p>② 手前に引いてフィルターガイドから取り外す。</p>  <p>フィルターガイド</p>	<p>③ 循環フィルター全体をブラシなどで掃除する。 金属などの固いブラシは使わないでください。</p> 
<p>④ フィルターガイドをブラシなどで掃除する。 小さな穴にごみなどが詰まっていたら取り除く。 ごみなどが詰まっているとお湯の循環が悪くなり、おいだき不良の原因となります。</p>  <p>小さな穴も掃除する。</p>	<p>⑤ ▲マークを合わせてはめる。</p>   <p>この▲マークを合わせる</p>	<p>⑥ 差し込んで“カチッ”と止まるまで右に回す。</p> 

循環フィルターとフィルターガイドのお手入れの後は…

お願い

- 循環フィルターは元通り確実に取り付けてください。フィルターが外れていたり、取り付けかたが不十分な状態で使用すると機器故障の原因となります。
- 循環フィルター以外は外さないでください。
- これらを守らずに機器が故障したときの修理は、保証期間内でも有料です。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に次のことを確認してください。

給湯機器の取扱説明書およびリモコン取扱説明書の「故障かな？と思ったら」も、併せてご覧ください。

		こんなとき	こんな理由・こうしてください
マイクロバブル運転		マイクロバブル運転できない	<ul style="list-style-type: none"> リモコンの運転スイッチは「入」になっていますか？ <small>📖 リモコン取扱説明書</small> 自動運転の湯はり中は、マイクロバブル運転できません。 循環金具の上までお湯がありますか？ 泡の出る入浴剤を使用していませんか？ <small>📖 P5「入浴剤について」</small> <small>📖 P8の5.「手でマイクロバブルフィニッシング運転を行う」</small>
		マイクロバブルスイッチを押してから、マイクロバブルが出てくるまで時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> マイクロバブル運転の準備には約 60 秒かかります。
		マイクロバブルスイッチを押すと、冷水が出る	<ul style="list-style-type: none"> エアーミキシング運転をする際に、配管内の水が押し出されて循環金具から浴槽内に出てきますが、異常ではありません。
		マイクロバブルが出ない	<ul style="list-style-type: none"> 浴槽の循環金具のフィルターにごみや髪の毛が詰まっていますか？ <small>📖 P14「循環フィルターとフィルターガイドのお手入れ」</small> 循環金具に循環フィルターを取り付けてありますか？取り付けていないと空気の泡が発生しません。 <small>📖 P14「循環フィルターとフィルターガイドのお手入れ」</small> 入浴剤を使用していませんか？ <small>📖 P5「入浴剤について」</small> <small>📖 P8の5.「手でマイクロバブルフィニッシング運転を行う」</small>
		マイクロバブル運転が途中で止まる	<ul style="list-style-type: none"> マイクロバブル運転の途中で、おいだきやたし湯、たし水（ぬる湯）運転をすると、マイクロバブル運転はその時点で終了します。
		自動運転・たし水運転・たし湯運転をすると、白く濁ったお湯が出る	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転で湯はり中や、たし水運転、たし湯運転中に浴槽に供給されるお湯（水）が白く濁っていることがあります。これはマイクロバブル運転専用の循環金具を使用しているためで汚れではありません。湯はりや、たし水運転、たし湯運転が終了すると消えます。また、浴槽のお湯の表面に気泡が縞模様のように現れることがありますが汚れではありません。お湯をかき混ぜると消えます。
		何もしていないのに浴槽の循環金具から水が出る	<ul style="list-style-type: none"> 定期的にマイクロバブルの配管を洗浄した水が循環金具から出ますが、異常ではありません。

故障表示

マイクロバブルバスユニットが故障すると、リモコンの表示画面に下記のような故障表示が点滅します。

故障表示の点滅と一緒に、
運転ランプも点滅します。



※表示の例です。リモコンにより
画面が異なります。

故障表示の例

1 9 6	2 5 6	2 6 6	4 1 6	6 3 6	6 4 6	7 1 6
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

※ 上記はマイクロバブルバスユニットに不具合があった場合の故障表示です。

給湯機器に不具合があった場合の故障表示およびそれらの対処方法については、給湯機器の取扱説明書をご覧ください。

故障表示が点滅した際の再確認のお願い

次の操作をしてください。

<p>① ガス栓と給水元栓が十分に開けてあるかを確認する。</p> <p>全開にする 全開にする</p>	<p>② お湯を使っている場所では、給湯栓を閉じる。</p>	<p>③ リモコンの運転スイッチを「切」にし、再び「入」にする。</p>	<p>④ 本書および給湯機器の取扱説明書を確認の上、再び使用してみる。</p> <p>故障表示のうち、256・266 が点滅した場合は、下記の「故障表示が 256・266 の場合」の処置をしてから、再度使用してみてください。</p>
---	---------------------------------------	---	---

故障表示が 256・266 の場合

再度使用するには、下記の点に注意してください。

故障表示	原因	処置
2 5 6 2 6 6	マイクロバブル運転時に、浴槽のお湯が足りなかった。	浴槽の水位が、循環金具の上端から 5cm 以上高くなるようにお湯を張ってから、マイクロバブル運転をしてください。

再使用しても、故障表示が点滅する場合は…

機器の故障が考えられます。お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

※ リモコンの故障などの場合は、表示画面が点灯しなくなったり、故障表示が点滅したり、リモコンが操作を受け付けなくなったりします。お湯を使うことができる場合もありますが、この場合、高い温度(約 45℃)のお湯が出ますので、使用には十分にご注意ください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

- まず 15 ページの「故障かな？と思ったら」と 16 ページの「故障表示」をご確認ください。
確認のうえそれでも不具合がある、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理なさらないで、必ずガス栓・給水元栓を閉じ、電源プラグを抜いて（分電盤の専用ブレーカーを「切」にして）から、お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。
- 修理をお申し付けのときは、次のことをお知らせください。

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ① お名前・ご住所・電話番号 | ③ 現象（故障表示の数字などできるだけ詳しく） |
| ② 品名（UF-MBU3） | ④ 訪問希望日時 |

転居または機器を移設される場合

- 増改築などのため機器を移設される場合、工事や調整は専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店または施工店にご連絡ください。
- 転居・移設に伴う調整や改造に要する費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- 裏表紙が保証書になっています。
- 当社は保証書に記載してあるように、機器の販売後、機器に故障がある場合、一定期間の一定条件のもとに、無料修理に応ずることを約束いたします。（詳細は保証書をご覧ください）
- 保証書を紛失されますと保証期間内であっても修理費をいただく場合がありますので大切に保管してください。
- 凍結による故障の場合は保証期間内であっても有料となりますのでご注意ください。
- 自然災害（虫や小動物・雑草などの侵入など）による故障は、保証期間内でも有料修理となりますのでご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品の保有期間は、製品本体の製造打ち切り後 7 年です。
- 性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスなどの連絡先

- お買い上げの販売店または当社お客様センターにご連絡ください。

お客様の個人情報の取り扱いについて

- 当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前・ご住所・電話番号などの個人情報を、サービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に依頼する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供はいたしません。

交換部品・別売品などのお求めは

- 当社のインターネット販売サイト R.STYLE（リンナイスタイル）では、交換部品や別売品、お手入れ品などを幅広く取り扱っております。交換部品はお客様自身でお取り替えできる部品が対象です。なお、取扱説明書を紛失した際も下記サイトからお買い求めいただけます。

汚れた部品を交換しましょう！

R.STYLE

● 消耗品・交換部品のネット販売

当社製品の交換部品・お手入れ品などをインターネット販売サイトよりご注文いただけます。

<https://www.rinnai-style.jp/>

主な仕様

分類名称	Micro Bubble Bath Unit	
品名	UF-MBU3	
設置方式	壁掛設置・据置設置・PS 内設置 ※循環金具は専用	
外形寸法	ユニット本体：幅 250 × 奥行 200 × 高さ 374 (mm) 循環金具：φ 91 × 奥行 34 (浴槽露出部) (mm)	
製品質量	ユニット本体：9.0kg 循環金具：0.35kg	
定格電圧	AC100V	
定格周波数	50/60Hz	
定格消費電力	267W	
待機時消費電力	0.5W	
設置条件	おいだき配管延長	13A 樹脂管：25m 以内 10A 樹脂管：20m 以内
	浴室設置条件	上方 5m、下方 3m (10A 樹脂管の場合は下方 1.5m)
	とりい配管	高さ 3m 以内で 1 カ所
	適用浴槽サイズ	家庭用 340 リットル (標準形状) まで対応
気泡運転制御	運転方式	間欠式
	マイクロバブル運転時の循環湯量	毎分 5.5 ~ 8 リットル
	フィニッシング運転時の循環湯量	毎分 12 リットルを 30 秒間 (運転終了時)
運転制御	給湯機器の湯はり流量	毎分 18 リットル
	凍結予防対策	凍結予防ヒータ (69W)
	希望所要水圧	200kPa 以上
安全装置	空運転防止装置 (水位電極) 漏電安全装置 (漏電遮断器)	

- 本仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。

Micro Bubble Bath Unit (マイクロバブルバスユニット) 保証書

品名 UF-MBU3

この製品は厳密なる品質管理および検査を経てお届けしたものです。
本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

記

- 保証期間は、お買い上げの日から1年間とし、機器本体を対象とします。
保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼してください。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、当社お客様センターにご相談ください。
リンナイ(株) お客様センター フリーダイヤル：0120-054321
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 保証についての規定は下記をご覧ください。

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはもよりの弊社窓口が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店にご依頼の上、出張修理に際して本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 犬・猫・鳥・鼠・くも・ゴキブリなどの小動物や昆虫類の侵入などに起因する不具合。
 - (ニ) 火災・凍結・水害・地震・落雷・ばい煙・降灰・酸性雨・異常気象その他の天災地変や公害・塩害・ほこり・腐食性の有害ガス・異常電磁波・異常電圧・異常周波数による故障および損傷。
 - (ホ) 建築躯体の変形等、機器本体以外に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年劣化またはご使用に伴う摩耗等によって生じる外観上の現象。
 - (ヘ) 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ト) 本書の提示がない場合。
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、販売店名の記入のない場合あるいは字句が書き替えられた場合。
 - (リ) 指定外の燃料、使用電源（電圧）の使用による故障および損傷。
 - (ク) 温泉水・井戸水・地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (ル) ご転居などによる熱量変更に伴う改造・調整の場合。
 - (レ) 水道管の錆びなど、異物の流入による故障および損傷。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社お客様センターにお問合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは17ページをご覧ください。

お買い上げ日および販売店名

お客様	ご芳名	販売店	店名	扱者印
	ご住所		住所	
お買い上げ日	年 月 日	電話番号		

修理記録

この機器の修理記録は、本体のフロントカバー裏面に収納の故障診断シートに記録します。

お客様へ

この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

リンナイ株式会社

〒454-0802 名古屋市中川区福住町2番26号
TEL 代表 052-361-8211

故障・修理・お問い合わせについては

■インターネットでのお問い合わせやお手続き

修理のお申し込み お問い合わせ・サポート



■お電話でのお問い合わせ

お客様センター

受付時間 平日9:00~18:00 土日祝日9:00~17:00
※年末年始は除く

修理受付時間 365日24時間

フリーダイヤル 0120-054321

ナビダイヤル 0570-550258

※携帯電話からの場合（通話料が発生します）

OPU30-1101×01(03) 211201 ©



060 00012 40974 1